



エコ・ファーストの約束(更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取組～

平成 29年 10月 31日

環境大臣 山本 公一 殿

ワタミ株式会社

代表取締役社長 清水 邦晃

ワタミ株式会社は、地球で事業活動(外食、食品製造・卸、高齢者向け宅配、農業、環境エネルギー)を営む企業の社会的責務を踏まえ、法令順守を徹底するとともに、環境負荷の軽減を通じ積極的に社会貢献をするため、以下の取組を進めてまいります。

ワタミグループは、環境宣言 2008『美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していく』に基づき、環境方針 W-ECO ビジョン 2020 『グループ CO2 排出量を 2020 年までに 50%削減(2008 年度比、原単位・売上高当り)』の達成を目指します。(下記、①、②、③、④合計)

1・事業活動における環境負荷を低減します(CO2削減)

- 2020年度までに次のCO2削減目標を達成します。
 - ムダ電気の削減、LED等の高効率機器導入促進によって、外食事業並びに宅食事業でのCO2排出量を2008年度比、原単位(売上高当り)で15%削減します。①
 - 外食事業の既存店舗でのCO2排出量を2008年度比、総量で15%削減します。
 - 再生可能エネルギーの普及を目指し、原単位25%削減相当の再生可能エネルギー事業に関与していきます(事業主体、FIT電源としての活用等)。②
 - 削減目標達成のため、主要事業で認証を取得している環境ISO14001を強化し、日常の環境負荷低減に努めます。

2・循環型社会構築のため、環境改善事業を強化します(3Rの推進)

- 外食および食品製造・卸事業での食品廃棄物(生ゴミ)のリサイクルに努めます。
 - 循環型地域モデルを2020年度までに3つの地域で構築し実施します。(埼玉県地域、東京都・千葉県地域、大分県臼杵市)
 - 食品リサイクルを強化し、2020年度までに外食および食品製造・卸事業の合計の再生利用等実施率60%を達成します。
 - 廃棄物の発生抑制に努めると共に、食品ロス削減に取り組みます。
- 安全・安心な循環型社会構築のため、有機農業の普及に努め、管理農地面積を2020年度までに400haへ拡大し、外食事業の有機・特別栽培食材比率を50%にします。(CO2原単位約5%削減効果)③
- 命の源でありCO2の吸収源でもある森林再生事業に取り組み、管理森林面積を2020年度までに1000haへ拡大します。(CO2原単位約10%削減効果)④

3・グループ社員の環境意識を向上させ、日々の環境改善を推進します(社員の行動)

- グループが関与する再生可能エネルギー電源(FIT電源)を活用したグループ電力会社から社員に電力を供給することによって働きかけ、グループ会社の社員の生活における環境意識向上を目指します。

4・森林保全などの環境活動に取り組む地域やNPO活動を応援します。

- 環境教育や森林保全に取り組むため、「ワタミの森」の活動を促進すると共に、環境・森林保全活動に取り組む公益団体(NPO法人等)を応援します。
- 小学生を対象として実施している北海道わたみ自然学校を通して、将来を担う子どもたちへの環境教育に努めます。

watami